

福沢製作所のバット製造を記録する



かつて寿町で操業していた福沢製作所の様子。
写真提供：福沢祐介氏（浦幌町立博物館所蔵）

時代と共に変化する町の産業について、モノとコトバで記録するのが地域博物館の役割です。その他のさまざまな産業についても随時聞き取りを実施し、記録に努めて参ります。

博物館では、かつて「バット工場」として知られていた福沢製作所のようすについて、元経営者の福沢祐介氏に聞き取りを行いました。その結果を、今年3月発行の『浦幌町立博物館紀要』に掲載しています。

浦幌は林業の町であると共に、林業の町でもありました。象徴的なのが、鉛筆やバットの生産でした、

学芸員 持田 誠



博物館の窓

第106回